

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-275671 (P2003-275671A)  
 【公開日】平成 15 年 9 月 30 日 (2003.9.30)  
 【出願番号】特願 2002-77661 (P2002-77661)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 0 5 D 3/06  
 B 0 5 D 7/24  
 C 0 9 D 5/00  
 C 0 9 D 183/16

【F I】

B 0 5 D 3/06 1 0 2 B  
 B 0 5 D 7/24 3 0 1 T  
 B 0 5 D 7/24 3 0 2 Y  
 C 0 9 D 5/00 Z  
 C 0 9 D 183/16

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 3 月 9 日 (2005.3.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ポリシラザンおよび光重合開始剤を必須成分とする組成物 (X) を用いて塗膜を形成した後に、該塗膜に活性エネルギー線を照射してポリシラザンを硬化する方法において、活性エネルギー線の照射から硬化が完了するまでの少なくとも一部、前記塗膜がカバー材で覆われていることによりポリシラザンの硬化を促進せしめることを特徴とする、ポリシラザンの硬化方法。

【請求項 2】  
活性エネルギー線の照射前からカバー材で覆う請求項 1 記載のポリシラザンの硬化方法。

【請求項 3】  
活性エネルギー線の照射後にカバー材で覆う請求項 1 記載のポリシラザンの硬化方法。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 4  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

本発明は、前述の課題を解決すべくなされたものであり、ポリシラザンおよび光重合開始剤を必須成分とする組成物 (X) を用いて塗膜を形成した後に、該塗膜に活性エネルギー線を照射してポリシラザンを硬化する方法において、活性エネルギー線の照射から硬化が完了するまでの少なくとも一部、前記塗膜がカバー材で覆われていることによりポリシラザンの硬化を促進せしめることを特徴とする、ポリシラザンの硬化方法を提供する。